



自動車業界のトップサプライヤー企業 Coupaで調達を加速

ユーザー導入100% 達成と、p-cardで支出の75%を節約

業種：製造業

従業員数：32,000

収益：36億ドル

地域：グローバル展開

課題

- 不透明性
- 各国のコンプライアンスの順守
- 手作業プロセスへの依存

ソリューション

- Coupa Procurement
- Coupa Invoicing
- Coupa Contracts

結果

- ユーザー導入：100%
- 非接触型の請求業務：80%
- p-cardによる支出：75%減
- MROの節減：12%

主要な目標

- 支出の可視化
- ユーザー導入
- プロセスの効率化
- 支出管理
- 購買業務のデジタル化
- ERPへのシームレスな統合

自動車業界Tier 1サプライヤーが購買業務のデジタル化に取り組む

Cooper Standard社は、自動車関連のブレーキシステムやシーリングなどを製造しています。同社はTier 1サプライヤーとして大手30社の仲間入りをするのと、資本利益率で同業他社の中で上位5%に入ることを目標としています。

20か国で操業するCooper Standard社は、24種類もの間接購買システムを使用していました。単一のカタログもなく、請求されるまで支出を全く把握できない状態でした。品質を持続的に良い状態に保ち、顧客である自動車製造メーカーに優れた製品を提供するためには、調達から支払いまでをデジタル化した包括的P2Pプロセスが必要でした。

Cooper Standard社はBSMにCoupaを利用することで前進を加速

そこでCooper Standard社は、ビジネス支出管理 (BSM) にCoupaを採用することにしました。サプライヤーの手数料が不要で、プロセスをエンドツーエンド (E2E) でカバーし、従業員、ITスタッフ、サプライヤーの誰にとっても使いやすいものだったからです。

Cooper Standard社では、Coupaが同社の「上位30社あるいは上位5%」の地位を獲得するために役立つだけでなく、Coupaの使いやすさによって、顧客から供給基盤として選ばれる立場を強化することにも役立っているとも感じています。

Cooper Standard社は、BSMにCoupaを利用することでイノベーションを加速

Coupaプラットフォーム導入までわずか6か月

Cooper Standard社は、CoupaのBSMプラットフォームを6か月で導入できました。「北米全土にCoupaのプラットフォームを導入したところ、私たちの想像を上回ることを実現できました」と上級副社長・最高情報責任者のSue Kampe氏は話しています。

既存システムへのシームレスな統合とユーザー導入率100%を実現

CoupaプラットフォームをCooper Standard社の既存ERPシステムやWorkdayシステムにシームレスに接続できたことから、IT部門とユーザーのどちらにとっても使いやすいのは明らかでした。100%のユーザー導入も実現できました。

Cooper Standard社は、Coupaで請求業務の80%を非接触型に

Coupa導入前のCooper Standard社では、20,000件の請求書の4分の1がすべて手作業で処理され、POは発行されていませんでした。Coupaのプラットフォームを使用することで、請求業務の80%が非接触型となりました。

Cooper Standard社は、BSMにCoupaを採用することで支出を大幅に削減

Cooper Standard社では、購入カードの支出が75%削減されたため、メンテナンス、修理、運用にかかるコストを12%節約できています。削減された支出はビジネスに再投資され、世界トップクラスを目指して前進し続けることができます。

その他の事例や参考情報は[COUPA.CO.JP](https://coupa.co.jp)をご覧ください。



“ Coupa を利用すると、作業時間の短縮やレポート実行を高速化することができます。また、商品別、サプライヤー別、地域別の支出を数分で判断できます。 ”

間接購買部門
ディレクター
Steven De Luca氏